



Higashimurayama City International Friendship Association

# 東村山市国際友好協会 第133号

昨年はコロナ禍を経て5年ぶりに学生の受入・派遣が再開されました。ホストファミリーも派遣生も応募者が多数で、多くの市民の皆さんがこの姉妹都市交流に興味を持ってくださり、うれしいことでした。東村山の学生もインディペンデンス市の学生も、異国で家族の一員となって過ごす生活を楽しんだようです。ホストファミリーとなってイ市の学生を受け入れ、2週間を共に過ごしてみませんか？また、派遣生としてイ市で異文化体験をしてみませんか？ (問い合わせは市民相談・交流課)



**期間:** 8月3日(日)~18日(月)  
インディペンデンス市にホームステイし、家族の一員となって生活する貴重な機会です

**応募要件** (すべて満たす方)

- ① 市内在住・在学・在勤および友好協会会員の同居家族の方
- ② 団員(10名): 中学3年生~23歳(申し込み時)  
引率者(1名): 25歳~65歳で英語に通じ、心身ともに健康な方
- ③ 研修等派遣事業の全活動への参加及び帰国後の活動に参加できる方

**選考日・場所** (書類審査と面接)

団員: 3月22日(土) 14:00 市民センター  
引率者: 3月8日(土) 19:00 市民センター

\*引率者は3月3日(月)、団員は3月10日(月)までに郵送又は直接市民相談・交流課へ

\*渡航費用(約33万円)のうち、団員については2万円を協会が補助、引率者は全額補助

**事前説明会** (市民センター)

2月28日(金) 19:30  
3月1日(土) 19:30



## さあ、次はあなたの番です!

**期間:** 6月6日(金)~20日(金)

インディペンデンス市の訪問団〔学生10人・引率者1人〕が市内の家庭に滞在し、日本の文化体験や市民との交流を行います。訪問団員1人/1家庭で市内のご家庭にホームステイします。帰国後もずっと交流が続いている家族がたくさんあります。

**ホストファミリー**



**応募要件** (すべて満たす方)

- ① 市内在住で、期間中訪問団員に一部屋提供できる
- ② 歓迎行事などに家族のどなたかが参加できる
- ③ 基本的に集合場所への送迎ができる

\*2月28日(金)までに市HPの申込フォームで申し込み

**事前説明会**

2月22日(土) 19:00  
市民センター2F



## 英会話講座受講者

**前期講座期間**

2025年4月9日(水)~9月17日(水)  
毎週水曜日、1コマ55分で計20回  
(注: お子さん同伴の受講はできません)



## ネイティブの講師



ゴードン先生

キャメロン先生

トーマス先生

### 申し込み方法

往復はがきで、必要事項①住所 ②氏名 ③連絡先電話番号  
④一般又は学生を明記して東村山市〔市民相談・交流課〕へ

**申し込み期間** 3月1日(土)~3月10日(月)

**募集クラス** 各2クラス、1クラス定員24名

初級 ○午後5:30~ ○午後7:30~  
中級 ○午後6:30~ ○午後8:30~

**受講料** 6カ月 14,000円

**年会費** 一般 2,000円、学生 1,000円

**テキスト代** 実費

### 訃報

当協会顧問で賛助会員の前市長・細瀬一男氏(享年89歳)が去る11月15日に逝去されました。これまでのご貢献に心から御礼申し上げますとともに謹んで哀悼の意を表します。

## 会員募集中!!

東村山市国際友好協会は両市の交流を進めるボランティア団体です。  
年会費 一般会員 2,000円、学生会員 1,000円、賛助会員一口 10,000円から

問合せ先 市役所内 市民相談・交流課 042-393-5111





## 軽快な音楽と笑顔が溢れるXmasパーティー



左から会長、交流委員長、元会長

12月14日(土)、サンパルネのコンベンションホールにてコロナ禍後2回目となる、当協会主催「クリスマスパーティー」が開催されました。パーティーは遠藤交流委員長の司会で始まり、最初に伊藤会長の挨拶がありました。今年47周年にあたり、創立当初から協会を支えられてきた諸先輩方が紹介され、その功績が讃えられました。

次いで渡部市長のご挨拶、各議員の方々の紹介の後、大野前会長による乾杯の音頭で会食がスタート。当日は80名以上の会員が参加し、会場中央に並んだ料理や飲み物を囲み、久しぶりの再会を喜び合いました。和やかに歓談しながら、立食形式の食事を楽しましました。

食事が一段落した頃、菅谷俊平カルテットによる軽快なリズムの演奏が3曲続いた後に、美しい歌声のクリスマスソングが会場を包み込みました。会場では手拍子に合わせてスウィングする人々、社交ダンスを披露する人々、手を取り合っただダンスを楽しむ姿などが見られ、笑顔が溢れる交流の場となりました。

その後、第36回派遣学生たちが自己紹介を行い、二人一組で



来賓の方々



令和6年度 第36回派遣学生によるパフォーマンス

披露したパフォーマンスは大変な盛り上がりでした。最後に藤原副会長による閉会の挨拶があり、楽しく心温まる交流会は無事終了しました。

今回のパーティー開催にあたり、会場設営や準備、片付けにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

**「コービーブレイク」**  
青い目をしたお人形(1921年) 生まれのセルロイド。日本の港へ着いた時一杯涙をうかべてた「わたしは言葉がわからない。迷子になったらなんとせう」やさしい日本の嬢ちゃんよ仲よく遊んでやってくれ

野口雨情作詞、本居長世作曲

子どものころ歌った童謡です。関東大震災が起き、米国で日系人排斥運動が高まった時期に、日米親善を目的に日本の子供たちへ贈る人形や寄付が米国各地で募られました。集められた三千体近い友情人形は1927年(昭和2年)にニューヨークやサンフランシスコの港から船で来ました。国内各所の幼稚園や小学校等に人形を配分する事業は渋沢栄一が会長の日本国際児童親善



### 多言語スピーチ大会

12月22日(日)、市民センターで多言語スピーチ大会が開催されました。R6年度のテーマは「外国語の学びを通じて何を感じ、どう成長したか」です。外国籍の方(子供を含む)7人、日本人7人の計14人が参加しました。

英会話講座からは2名が参加し、宮崎守弘さんはこれまで以上に英語を上達させたいという強い決意を、相川慶子さんは昨年行ったイ市訪問学生の日本語文化体験行事の中の「どら焼き作り」にスタッフとして参加したときの経験を発表しました。

会が行いました。この時日本各地でも募金を集め、出身県の名前を付けた答礼人形(市松人形)58体が船で米国へ渡り各地の博物館や美術館などに寄贈されました。答礼人形は高さ約81cm位で、三越・白木屋・高島屋・松坂屋などの有名デパート特製の友禅縮緬の着物と金地の帯、足には足袋を履いていました。

日本では戦争中に敵性人形として多数が処分され、現存する人形は34体です。米国では48体が現存し米国各地の公共施設で保管されています。ミズーリ州にはセントジョセフ博物館のミス宮城、カンザスシティ博物館のミス静岡(富士山三保子)の2体が収蔵されています。(K・N)

参考①ウイスマイア  
②青い目の人形  
③高野展之記念おぼろ月夜の館  
「青い目の人形展」



長野絹子嬢

### お知らせ

◇昨年8月イ市を訪問した第36回派遣団は11月21日(木)に解団式を行い、渡部市長へ報告書を手渡しました。

◇令和7年度総会を5月17日(土)午後2時から市民センター12Fにて開催の予定です。なお、終了後懇親会を行います。



宮崎守弘さん 相川慶子さん

### 編集後記

昨年は4年間の空白を乗り越えて、無事に学生の相互交流を終えることができました。学生受入委員会も派遣委員会も今年の交流に向けて着々と準備を進めています。姉妹都市提携50周年を迎える2028年を目前にして、次の50年へ向けて持続可能な活動を模索していきたいものです。

## 人と人



発行：東村山市国際友好協会  
編集：広報委員会  
東村山市本町 1-2-3  
東村山市役所内  
☎393-5111 内線3313  
https://www.h-ifa.com/